

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

徳島県つるぎ町 つるぎ町立半田病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員 民間企業出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	対象	ド透	救臨へ災輸
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	看護配置	
8,959	12,311	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

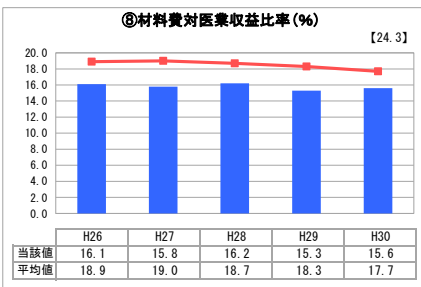
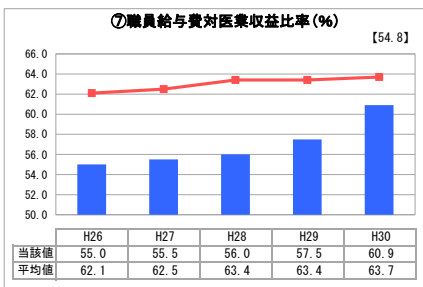
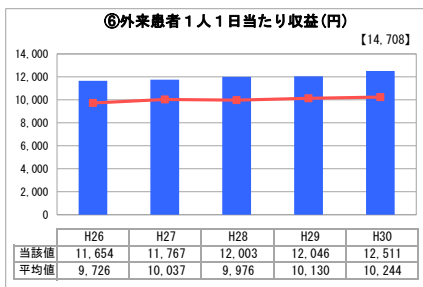
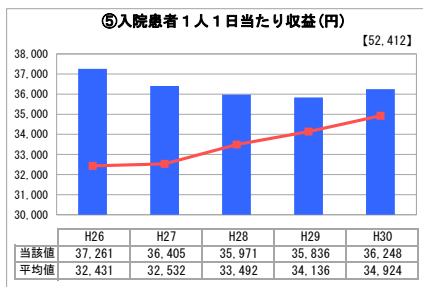
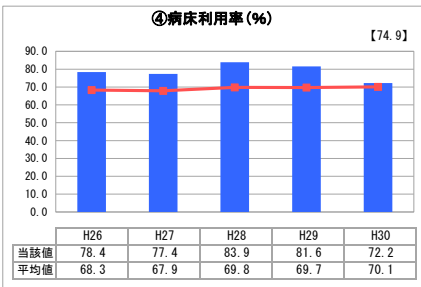
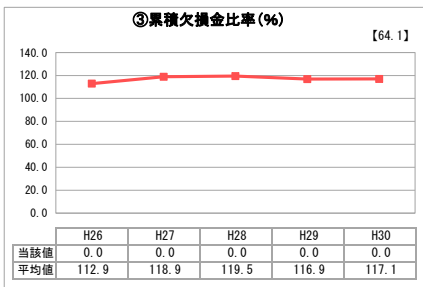
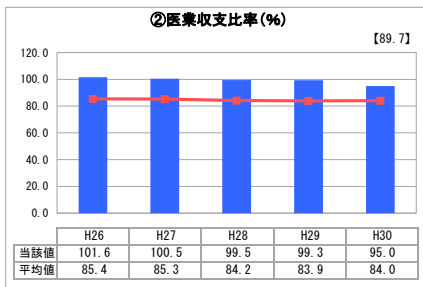
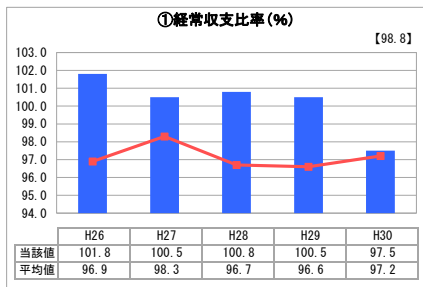
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
120	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	120
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
120	-	120

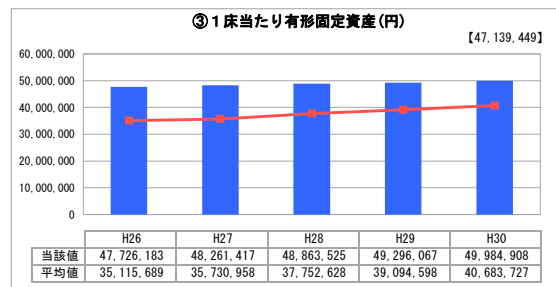
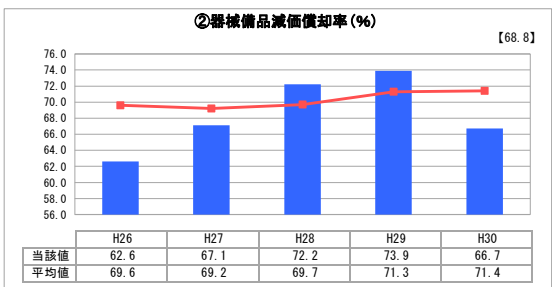
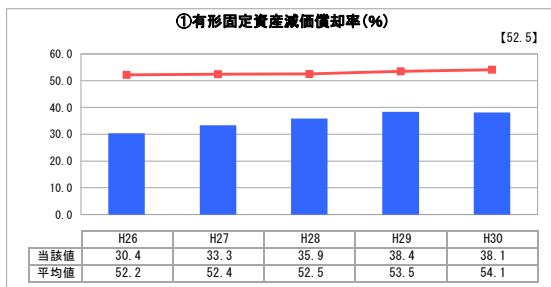
**グラフ凡例**

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

## I 地域において担っている役割

徳島県西部医療圏における5疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)、5事業(救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療)を担っている。特に、産科医療・小児医療・透析医療においては、当該地域において拠点となる医療機能である。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率：前年度決算と比較し、3.0%の比率減少となり経常赤字へと転じている。経営の安定化に向け、比率100%への早期改善が急務である。  
 ② 医業収支比率：繰入基準改正後、医療損失へ転じ、この傾向は今後も続く見込みである。全国平均・類似平均との比較では大きく上回っているものの、本業である医療活動は悪化傾向にある。  
 ③ 病床利用率：これまで高水準を保っていたが、当該年度においては、非常に低調な数値となった。病床数削減基準となる70%未満へは若干の余裕はあるものの、収益の根幹となる重要な指標であることから、早急な改善が必要である。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率：施設全体としては、耐震化工事による病棟を建て替えた事が大きく影響し、年数も経過していないので、平均に比べ老朽化は進んでいない。  
 ② 器械備品減価償却率：器械備品については定期的に更新しているが、比較的耐用年数が短いものが多い。平成30年度に電子カルテを更新した事により、取得費用の大ききから比率を大きく下げる結果となった。  
 ③ 1床当たり有形固定資産：従来の病床数134床から14床削減した120床運用となったことに加え、耐震化工事による固定資産の増加により、建設投資の状況としては高くなっている。

### 全体総括

新公立病院改革プランの計画期間中期を迎え、目標達成に向け取り組みも、多くの領域で相違が生じる結果となった。今後においても、新公立病院改革プランの推進を図り、地域の将来像を見据えた医療機能の維持・確保に努めるとともに、永年にわたり地域と共に歩める病院運営・経営基盤の構築に努めていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。